

飯田豊一 （以次郎） 小説家。明治二十一年二月一日愛知縣生れ（二六九一）。筆名飯田豊次。東京工科學校機械科卒。大正十一年金澤堂へ入り雑誌編輯に從事。雑誌「日文堂」（以次郎）、「日文藝解放」同人。また變名小と約十種の著書ありといふ。

著書「昭憲皇太后御歌讀本」(編著、昭和八年十一月、二十五頁高橋成  
明刊、愛知事業社)、「少年二十六年史」(昭和十五年六月十日金  
屋堂)、「戦時心處する道」(編、四版、昭和十六年十一月一日盛光  
館)、「大東亞戦争 慰問手紙の書方」(昭和十七年八月、二十頁大阪。  
洋山堂書店)、「大東亞戦争 海軍のはとと」(昭和十七年十月、二十頁)  
タビ書院成光館)、「名將家書物語」(昭和十八年二月十五日大阪・  
堀書店)、「イアセン作 人形の家」(編、昭和二十一年七月十八日新  
文社「世界名著物語文庫」)等。